

農業用ため池を 管理されている皆様へ



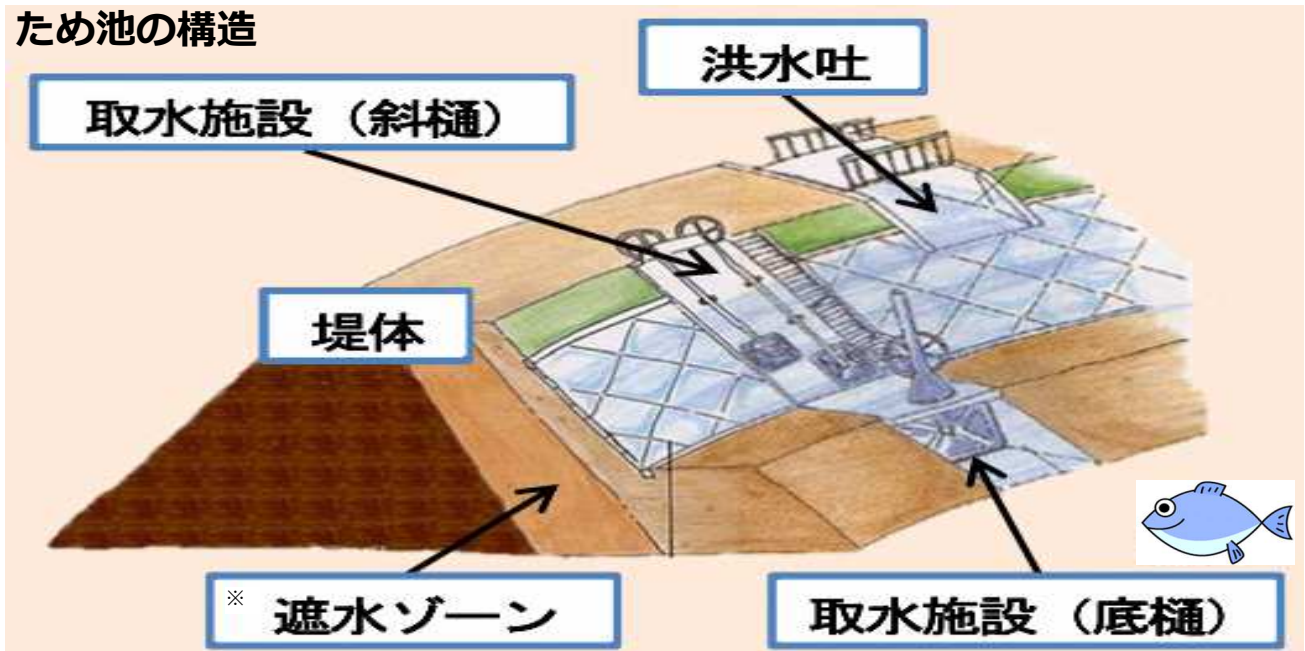
日常管理は、ため池の異常を発見し、決壊や自然災害を未然に防ぐ手段です。

【日常管理の留意点】

- ・ 堤体の草刈は、異常発見の第一歩です。
- ・ 樹木類は幼木のうちに必ず伐採しましょう。
- ・ かんがい期が終わったら水位を下げ、普段確認できない箇所(point)の点検をしましょう。
- ・ 点検は、安全確保のため、必ず2人以上で行いましょう。



ため池の構造



※遮水ゾーンとは、水を通しにくい粘土の層で、堤体の一部に入れている場合があります。

点検チェックリスト

堤 体

- 上流法面が浸食されている
- 木が生長している
- 下流法面に陥没やずれ落ち、はらみがある
- 法面や法尻からの漏水がある



上流法面が侵食されている状態

洪水吐

- 洪水吐の内側や堤体との境から漏水がある
- コンクリートの洪水吐のひび割れから漏水している
- コンクリート以外の洪水吐に変状や変形がある

※洪水吐を土のう等で堰上げすることは絶対にやめましょう。

※流路を阻害するような流木等があれば除去しましょう。



洪水吐のひび割れから漏水している状態

取水施設

- ため池栓や取水ゲート等に異常がありスムーズに動かない
- ため池栓等は閉まっているのに底樋出口から水が出ている
- 底樋出口周辺から漏水がある

※ため池栓等取水口付近にゴミ等があれば除去しましょう。



取水ゲート

点検により異常が確認されたら市町村へ相談してください。